



友の会に入って

小出真規子

ある日、本を借りるように、気軽に窓口へ行って「友の会を見学したいのですが？」と伝えると、係の方が「今月はお休みしているので見学できないから、入会しましょうよ」とおっしゃるので「あ・はい」と返事をして、入会となりました。入会してすぐに「古本市」という事になり、「古本市」が何なのか知らないまま、準備、古本市、片づけの3日間があっという間に終わりました。

まるでバーゲン会場のような状態の「古本市」で、たくさん専門書、小説、絵本、雑誌、文庫本などがどんどん売れていきます。驚きでいっぱいの日々でした。心地よい疲れと楽しさを感じられ、充実感に満たされました。

又、毎週水曜日の活動日も、都合に合わせる事ができ、リサイクル作業も基本を守って作業すれば良く、楽しく続けられることが出来、今に至っています。活動日には、作業以外に図書館活用講座があり、会員の方々の発表を拝聴する日があります。皆様博識でまるで大学教授の講義を伺っているようで大変勉強になります。又、一つのテーマを調べたり発表したりすることもあり、脳の活性化に役立つと思って頑張っています。深く考える間もなくすぐ活動できたのが良かったようで、窓口の方に感謝している日々です。



■友の会の目的と3つの柱

座間図書館ボランティア友の会は「図書館と協力して図書館と利用者とのコミュニケーション関係を作っていくとともに、自己の充実や心豊かな学習の場とすることを目的」として活動しています。

この目的には図書館や利用者に向けてのボランティア活動と、自己の意識や知識を高め自律した学びの場を目指していくボランティア活動という2つの意味が含まれています。その目的にそった活動方針として、3つの活動の柱があります。

- 1、館内整理や蔵書点検及び図書館の各種事業への参加や協力。
- 2、学習会や見学会を開催し、会員の意識、知識の向上を図る。
- 3、自主事業（古本市など）の開催

この3つがバランスよくつり合って、相互に支え合いながら活動を進めていくことを大切にしていきたいと思えます。（詳しくは「友の会だよりNo.23号」をご覧ください）

■座間図書館ボランティア友の会 会員募集

毎週水曜日の午前中に活動しています。（但し、館内整理のある第1週水曜日を除きます）

友の会の活動に興味のある方は、いつでも気軽に参加や体験ができます。一緒にボランティアを楽しみませんか。

28年度の活動

- 28年 4/6 友の会総会
 4/20 第1回図書館活用講座
 5/18 小学校の図書館見学案内（旭小）に協力
 5/20 " (東原小) "
 5月 友の会だよりNo.46号発行
 6/8~10 特別館内整理に協力
 6/15 第2回図書館活用講座
 9/3,4 ワンスモアブックスフェア開催
 9/17 第3回図書館活用講座
 10月 友の会だよりNo.47号発行
 10/12 第3回図書館活用講座
 10/13 小学校の図書館見学案内（立小）に協力
 10/19 鎌倉市中央図書館及び鎌倉文学館見学会

上記の活動以外に

- *毎月第1金曜日の館内整理日に協力
- *毎週水曜日（午前中）定期的に活動



表紙イラスト：関川麻里さん

表紙題字：萩本成美さん

◆活動に興味のある方は、下記の連絡先にお問い合わせください。
連絡先

◇座間図書館ボランティア友の会
会長 遠藤 TEL046(256)2264

◇座間市立図書館
葉山、櫻井 TEL046(255)1211

編集・発行

座間図書館ボランティア友の会事務局

2016(平成28)年10月

聖 門 図 書 館

ボランティア

友の会

だより

第47号



座間図書館ボランティア友の会

「新緑の鎌倉古道を歩く～七国峠～」

実施日 2016年4月20日(水) 参加者 13名
案内 会員橋川理恵子さん

町田市の西部に位置する「七国峠」を歩きました。七国峠は八王子市との境。七国峠古道は古来より交易ルートとして、鎌倉街道・山ノ道、絹の道などが時代を超えて重なり合います。



当日はJR橋本駅から大戸行きバスに乗り、「相原十字路」で下車。ここで目の前の境川の流れを確認しました。境川は武蔵国と相模国を流れる、まさに名前通りの川です。そして町田街道を横断して、いよいよ鎌倉古道を歩きます。古道は里山を登っていきます。新緑に心まで染まりそうな空気や鳥の鳴き声を楽しみながら、最初の立ち寄り地点の「相原中央公園」へ。散策と昼食の後、公園内の遊歩道を七国峠まで登りました。峠の位置を確認してから、尾根を東方向に少し進んで八王子市との境を地図と照らし体感し、再び峠に戻りました。峠からは鎌倉古道を下り、分岐から大日如来堂へ126段の階段をがんばって登りました。お参りの後、尾根を下ってこの日最後のお楽しみ「町田あいす工房ラッテ」へ。月に2度の割引の日という小さなおまけ付きのジェラートを皆で味わって、すぐ横のバスロータリーからJR相原駅へ戻りました。

(参加者の感想)

「百聞は一見に如かず」とはよくいったもので、家に帰って地図を見直すと、自分の足で歩いたコースが立体的によみがえってきた。事前にみんなで資料を探して予備知識を仕入れて出かけたので、ただ読んでいた資料も、体験すると理解度が違ってくるからおもしろい。

小学校図書館見学案内のお手伝い

5月18日(水) 座間市立旭小(3クラス97名)

5月20日(金) 座間市立東原小(4クラス111名)

<見学で伝えること>

一図書館って何をすること? 図書館の大切な役割一

その1. 図書館は本を借りるところ、返すところです。

その2. 調べものができることです。

その3. 本をとっておくところです。

今年も市内の小学校の社会見学で図書館を3年生の児童が訪れ、友の会も案内ボランティアを協力しました。

ふだんは行かない参考図書室や入る事の出来ない地下書庫や事務室で蔵書の豊富さや職員の仕事の様子にふれ、図書館に興味をもち本を手にとる楽しさを感じてくれたらな、と思いました。限られた時間で案内しなければならぬ大変さもありましたが、笑顔で手を振り帰って行くのを見送ると、無事に終わってほっとする思いでした。

実施日 2016年6月15日(水) 参加者 13名

発表者 会員鈴木孝成さん



鈴木孝成さんは2016年2月に中国深圳市に在住の息子さんご一家を訪ねました。その時に体験した中国の旧正月(春節)の様子を聞きました。

深圳市は香港に近い位置にあり、高層ビルが林立している街です。春節が近づくと街は赤提灯や沢山の実をつけた金柑鉢やお飾りで極彩色となり華やかになります。家庭では春節の大晦日に、玄関ドアに「福が来ますように」という意味で福を逆さに貼り、春節を迎えると「福が来た」という意味で正しい福の字に貼り替えます。大晦日は手作り餃子や沢山の料理を食べながら夜を徹して賑やかに過ごします。新春を迎える際に魔を払うとして欠かせない大きな音を出す花火爆竹も響き始めます。明けて正月は家族で中華料理店へ行き丸テーブルを囲んで「よいお年を!乾杯!」と2時間くらい賑やかな会話がはずみます。その後近場の街中や公園を散歩するのが普通の過ごし方です。春節のお話の他にも中国神話「嫦娥」の物語や中国の食品偽装の情報など写真や資料を交えて話してもらいました。

(参加者の感想)

・マンション各世帯入口に鉄格子あり、には驚きです。餃子が縁起物とは初めて知りました。中国の食材、食品に関する要注意のお話は強烈でした。

・探究心旺盛な鈴木さんらしく、単なる旅行の報告ではなく、「何で?」「どうして?」と調べた事も多く楽しい時間でした。

・知っているようで知らない中国。何となく敬遠したくなる中国ですが、鈴木さんが息子さん達と楽しく中国の旧正月を過ごされた話を聞いているとほほえましくなりました。

図書館特別館内整理

友の会に仲間入りし、10ヶ月経過し、初の年一回の図書館蔵書点検作業に参加しました。何事も“初”は緊張します。最初の作業は書架整理で、書架に納められている蔵書が順序正しく並べられているか目で追っていき、間違っただけ配架されている蔵書を正しい位置に戻します。あいさつが時々「?」となり、頭の中で“あかさたな…”我ながら久しぶりの体験でした。



次にはペンリーダー(スーパーのレジで見かける)を使って、バーコードをなぞっていきます。本棚の一番上の段、左側から順番になぞるのですが、コツがあるのか一回では“ピッ”と音が出ず、何回もなぞらなければ音がしない事もありました。一段終わると左端に自分の名を記した紙片をはさみ、次の段や他の書架に移動します。

私は午前中だけの作業でしたが、心持ち良い汗と疲労感、多少の達成感を覚え、帰途につきました。

ワンスモアブックスフェア結果報告

図書館から無料譲渡されたリサイクル本を、ワンスモアブックスフェアとして年2回(3月と9月)開催しています。

期間 平成28年9月3日(土)・4日(日)
場所 座間市立図書館 2階 講座室
主催 座間図書館ボランティア友の会

準備したリサイクル本	7,202冊
販売冊数	3,897冊
販売金額(1冊10円)	38,970円
経費(ブックスタンド・コピー他)	3,808円
ワンスモアブックス積立金へ	35,162円



※ 28年度ワンスモアブックス積立金残高
139,701円

28年度友の会図書館活用講座 第3回 夏休み情報交換会

実施日 2016年9月14日(水) 参加者 10名

夏休みが来ると、小学生の頃の自由研究を思い出します。テーマがなかなか決まらなかったり、休み終了間際にあわててやったりしました。

実は「友の会」でも夏休みの自由研究があるのです。皆、猛暑続きでなかなか取りかかれなかったと言いつつも、それぞれの思いのこもった作品が揃いました。

9月に入って発表会をしてお互いの作品を楽しみました。ここに簡単に紹介します。

- ・「ストレッチを通して学んだこと」…毎日ストレッチをして3年前から改善できた体の事。
- ・「尾崎放哉」…尾崎放哉の生涯を俳句と共に辿った調べ学習。
- ・「世界の子供たち、その国の国旗」…オリンピック入場行進を見て、世界の国旗に興味を持った。
- ・「幻想的な世界に出かけてみませんか」…はじめての薪能。狂言「棒縛り」、独吟「勸進帳」、能「小鍛冶」
- ・「「デポ」とは何か」…日本の食の安全をになっている生協＝デポについて調べた。
- ・本の紹介『ツバキ文具店』…著者小川糸。主人公は鎌倉で文具店を営むかわら代書屋をしている。
- ・「天台宗と比叡山」…父が亡くなって実家が天台宗なのを思い出した。よく知らないので簡単に調べた。
- ・「いびきはカラダの危険信号!」…大和成和病院の第5回医学講座を8月に受講した報告。
- ・「大航海時代の船乗りが恐れた謎の病気」…謎の病気は長期航海中にビタミンCが不足して起こる壊血病を調べた。

